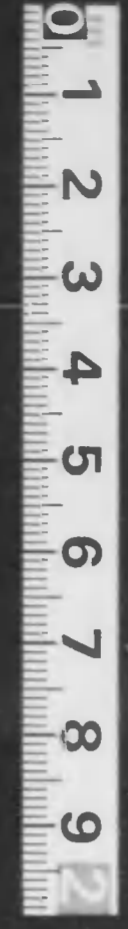
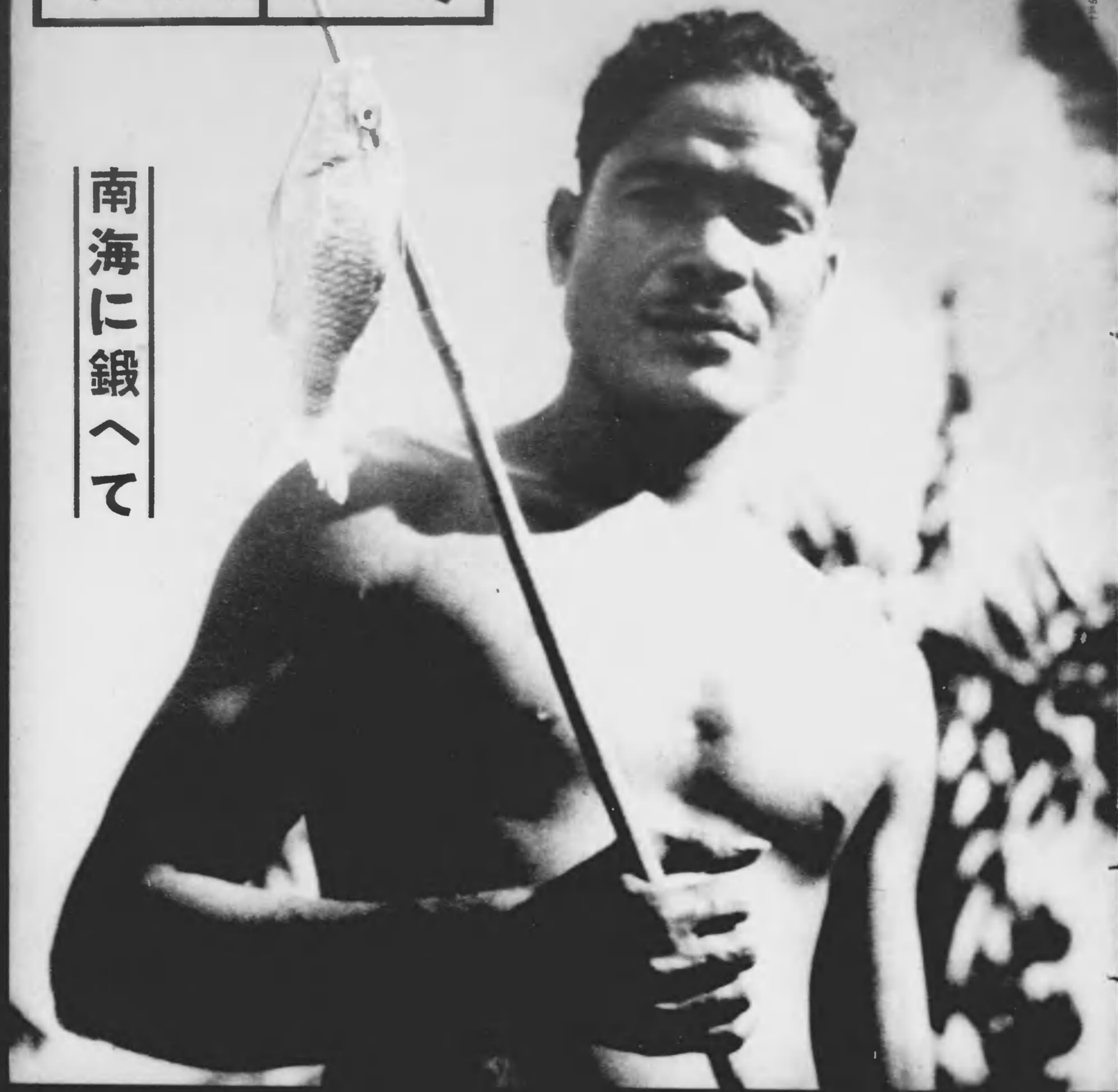


週寫眞  
報眞

編輯部報情閣内  
ンセ十・號九十五第・日五月四

南海に鍛へて





# 海南に鍛えて

文部省 航海練習船 歸る

松本 功之助 撮影

船は後四日で横濱に入港たその喜びを阻むやうな猛烈な西の逆風に見舞はれた

伸びる日本の真先に立ち、萬里の波濤を越えて五大洋に日の丸の旗を進める黒鐵の逞しい海軍男子こそ大和民族發展の傳統を象徵する雄々しい姿であらう。

やがて海國日本を燈る海の子―富山、岡山、三重、鹿児島、愛媛、山口、香川、廣島の八公立前船學校航海科生徒たちは黒潮躍る南洋群島に二ヶ月間の練習船生活を終へ三月廿日東京港に歸着した。黒々と潮やけした海の若人の眉宇には海に生きる海洋精神が深く刻まれてゐた。

私はこの海の若人を乗せた練習船日本丸に便乗、滿帆三十五枚に風をはらみ帆船が持つ持異性を利用して、大自然、人、船と三者が渾然と一體になつて大海原を突き進む海の神秘に身を置くことが出来た。

この海員のみが持つ神秘の風味をいやが上にも愛するものは海が若人が歌ふ甘く余韻ある船歌であつた。いま私はこの船歌を口ずさみながら航海日誌の断片を記してみよう。

（海にはじまり海に盡く われらの祖國守るため 三十五枚の帆にかけて 我々の意気はいや高し かの若人よ） 行け行け！

一月廿一日（晴）三十六枚の帆一杯に西風を受け船體の海を走つてゐた船尾ははたと止んだ。船のゆるいローリングに帆桁はカタ／＼と鳴り帆は萎んでしまつた。船は無風帯に入つたのだ。北緯廿七度附近である。

同 廿二日（晴）船は相變らず浪間に揺られてゐる。練習船が持つ行軍、無風帯と練習船が持つ行軍、牛の脂肉をえさに四五本の釣糸が垂らされた。間もなく生徒の承がピンと張つた。こ奴が人間様を喰ふのか、打下才提棒に鎌の頭は砕けた。手に／＼提棒を握り、勢ひこんだ非審の生徒等は顔見合せて大笑した。

同 廿四日（晴）風が出た。無風帯を通過したのでだ。だん／＼暑さも強くなつて来た。船は冬帆を夏季用白帆にかへた。

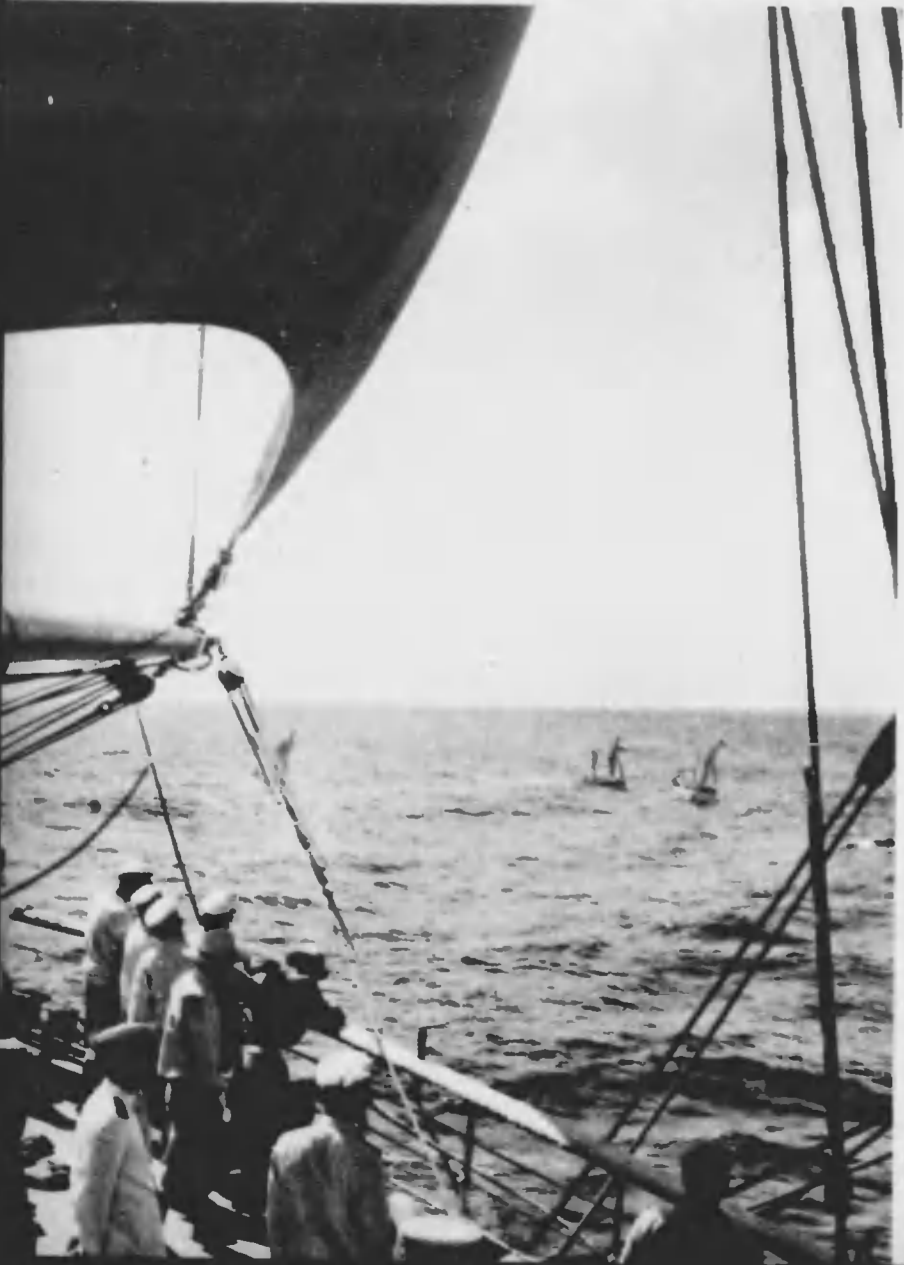
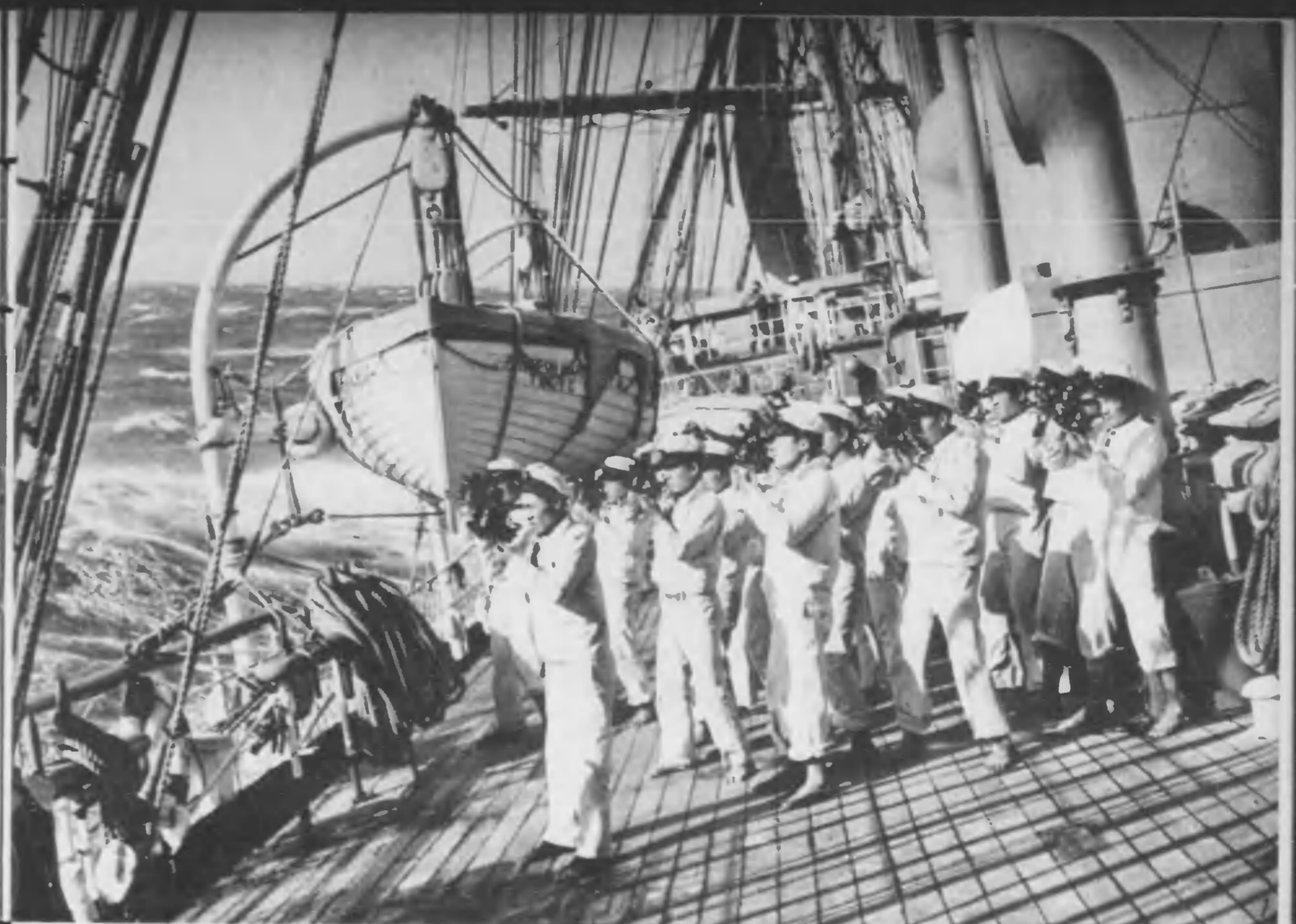
同 廿七日（晴）けふは日本丸の進水九周年を祝ふ記念の運動會が催された。親孝行競走。假裝競走に全員百十九名は大はしぎであつた。

二月一日（晴）出帆して十一日西風は東北風に變り貿易風帯に入った。海は益々紺碧に深え、空には柔かい白雲が切れ切れに浮いてゐる。純白の夏衣にかへた船員。寒瀟朝をかぶつた生徒等は本年第一回の夏を迎へたわけだ。夜に入つて水平線附近に南十字星がキラキラと輝いた。



守る公徳  
輝く文化

鐵道省



- 南海に鍛へて**
- 1 兼天に揺れる船の位置は 六分儀を振り空を視む生徒の眼は大海征服に輝いてゐる。
  - 2 右舷半速、船長の澄んだ命令は海上に響く。生徒は機関傳令機で命令を機関室に傳達する。
  - 3 白帆に風をはらひ船の行手はいづこぞ。船の進路を受持つ生徒の顔は緊張、かひなはしつかと舵機に。
  - 4 無風帯に近づいたか白帆も萎え船足は鈍つた。最上帆の上方準備に練習生は大直である。
  - 5 前方に一塊の黒雲が現れた。スコールが来るぞ。當直生徒は貯水準備をした。スコールは船員の咽喉を潤す飲料水を潤す愛護者である。
  - 6 「それ誰か落ちた」時を移さず救命艇は下され救助に向ふのである。練習船は何回かこの救助演習を行



**四 六日(晴)** 出帆以來空と海にはもうあきた。島が見える！ 當直生徒の眼の壁に飛び起きた。午前五時である。船の左手にすかすかに島影が見える。マリンヤル諸島のアイリンギニア島だと船員が歓へてくれた。あゝ、土が踏みたい、黒っぽい柔かい土である。生徒たちは私のノスタルジヤを笑ふやうに元氣一杯海の神秘を次々に解く科學、鋼鉄の身體を養ふ船内スポーツに若き情熱を傾けてゐる。

**四 八日(晴)** 午前六時第一の目的地東京カロン諸島(東京端)サイ島が視界に浮んだ。午後零時半クサイに入港した。全員甲板に整列、喇叭の音が代吹奏裡に日の丸はスル／＼と旗竿に上つた。生徒たちは半舷上陸でクサイ島の見學に出かけた。私は上陸するや既足で白っぽい土をビンビンと踏んだ。クサイは火山島で本島とレロ島の二つに分れ島の外郭は何れも珊瑚の環礁で取柄かれてゐる。パン樹、椰子、パイヤ、砂糖黍、レモン等は豊富にある。島民は約千六百、土人(カナカ族)千三百、邦人二百、米人一人で島の生業はコブラの製造である。レロ島には公學校があり土人の子供達は日本語の勉強に熱心で廿歳前後の男女青年は巧みに日本語を操つてゐる。これらの青年たちは東京見物の希望に熱く東京々々と獨語してゐた。在住邦人の歓迎、土人との合同運動會、椰子の菓糖に饗宴と語り一週間を楽しく過ごす。

**四 十五日(晴)** 島に郵便局が始めて開局した。開局式に各列午前十時サイパンに向け出帆。仲よしになつた土人の子供等は日の丸の小孩を振り船を見送つてくれる。私はさよならを心から叫んだ。

**四 廿三日(晴)** 午後零時半、第二の目的地サイパン島に入港した。マリアナ諸島の中心地で支那の所在地である。島民はチヤモロ、カナカの兩族で文化の程度は群島でも進んでゐる。沿岸地方は低地が多く地味は肥えてゐる。甘蔗、珈琲の栽培や製糖業が盛んでこの島には沖繩人の移住者が非常に多い。ここにも島民の熱心な歓迎と島内の見學に一週間満ちた。

**三月二日(晴)** 練習船は航海の三分の二以上の四千二百哩の黒潮を征服南洋を後に午後二時東京に向け出帆後は横濱まで十九日間、千六百哩の海上が生徒達の最後の訓練を持つてゐる。(便乗員生)



てへ鍛に海南

- 7 第一巻帆手上方用意「登れ」の号令で生徒は旗のやうに綱梯子をよち登り手捌き鮮かに巻帆を終った。
- 8 9 日本丸は南太平洋の真只中で進水九周年記念日を迎へた。餘興の障物競走と龍虎相撲の角力。無風帯は帆柱のつれづれである。鰯釣はとんちの時給まる。牛の脂肉にまんまと釣り上げられた鰯の断末魔と、釣り上げた鰯の腹内に祝杯の一撃を與へる生徒。
- 11 クサイ島が見えた。檳榔のクサイ入港だ。三角帆を巻込み人港準備は進む。
- 12 クサイ島に投錨した日本丸。紺碧の海に純白の船影の投影は静かにゆらぐ。生徒は楽しい半島上陸である。





南海に鍛へて  
クサイ島風物

花飾りを頭につけて練習船を迎へるクサイ島の娘たち。赤色満面の彼女等は島の花である。

南洋群島第一の良港クサイ島の海は甜碧に湛んでゐる。熱い海風に椰子は實り、カナカ島の民は天然の果樹に飽食してゐる。



タコの本産に涼む邦人と島の娘は島の傳説を、東京の話を交はしてゐる。海風はタコの葉をなぶつてゐる。



椰子の葉蔭に集ふ島民(カナカ)の女達は嬉々としてゐる。島の訪問者を心から歓迎してゐるのであらう。

カヌーを操りジャングル地帯を進行島民の行手をボースン島が飛立つ。

撮影 松本要之助





てへ 嶽に海南  
ちた民住の島

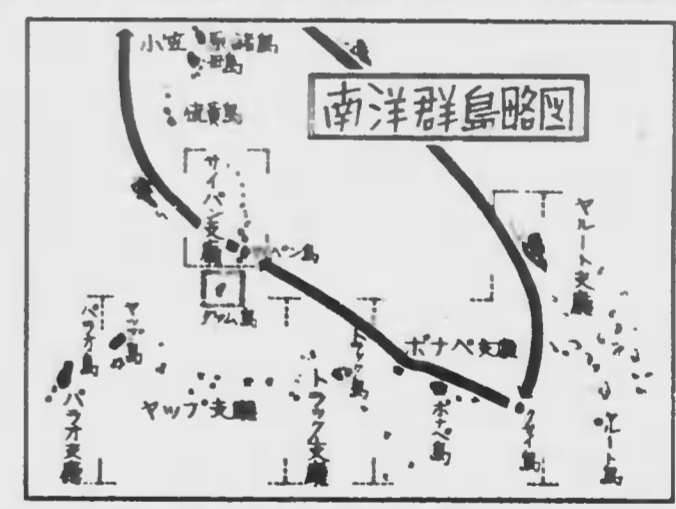
サイパン島には立派な教会がある。島民のキリスト教信仰は非常に厚い。教会に所を捧げた婦人らであらう静かに歩を運んでゐる。



公立の手工教室で熱心な島の娘は時間後もカメラの模写にペンキの筆を運んでゐる。

サイパン島チャモロ族上流の家庭。姉はピアノ、妹はヴァイオリン、奏する曲は愛國行進曲であつた。

サイパン島の青年達は、国防資金に、島の勤勞奉仕に率先参加する。彼等の心の慰安はブラスバンドの吹奏である。



サイパン島タンオツタ村の島民の子供達は生徒から御土産の贈答書を買つた。汽車、電車が走り、高層ビルディングのある東京の風景に喜びと驚異を感じてゐる。

サイパン公學校の日本語課教授である、桃太郎の鬼征伐の筆を學んでゐる。目は鋭いが氣はやさしく日本語の勉強は熱心である。

# 事變下の南洋

南洋 藤

南洋といつて、すぐわれわれの頭にぼよものは、椰子の木である。なるほど南洋の姿に一度も接したことはない者にとつては、この程度の常識よりいふのも無理はない。しかし海の生命線とまでいわれる南洋群島が、帝國領土の構成部分として日本の統治下になつてから二十数年にもなる今日、何時までも椰子の木と椰子の木ばかりのロマンチックな南洋であつてはならない。

いまや群島は過去の夢まどらかな時代とは打つて變つて、近代科學が誇るエンヂンの力に晝夜の刻なく島々に響き渡り、羅達群島建設へと一歩進みしつゝある。もしも、一たび群島へ足を踏み入れたらなら恐らく何人もこれが南洋の姿かと、驚嘆するに違ひない。それは別に、昭和の群島は近代的な文化を帯びてしまつたのだ。

あの瀟灑たる太平洋の真只中に、さながら豆粒のごとく散在してゐる島とは一體どの位の数かといふと、凡そ一千四百餘島と稱されてゐる。そして、これらの島々を合せた面積は約二千四百九十九平方軒といふから大體東京府か沖繩縣くらゐの面積である。だから、どの島もその面積は狭小で、しかも地質は珊瑚礁が多い。かうした数多い島々に全部人が住んでゐるかといへばさうではない。大部分は無人島であるが、しかしこのうちの主要なる島々は、太陽の光りと豊饒と恵まれた地力とによつて、島の面積に反比例する生産力を擧げてゐる。もしもこれ等の島々が北海にあつたとしたならば、經濟的に三文の値打もなかつたであらう。

しかし群島の開拓が如何に太陽の熱度と地力の恵みによるものであるとはいへ、その自然の恩恵も絶大なる人間の努力がこれに伴はなければ、到底その價値は發揮し得なかつたであらう。

まづ群島の産業界を一瞥しよう。眞先にその名を擧げなければならぬのは、群島開拓の先驅をなした南洋興發會社の年産百三十萬磅の製糖事業を筆頭に年廿萬英鎊の黒石を担り出す南洋拓殖社に内外の漁田開拓に拍車をかけつゝある南興水産、さてはアラフラ海で眞珠貝採取の眞珠會社等と数へ上げれば南洋を舞臺に活躍し、また活躍を期待される会社は大小相當の數に達してゐる。これらの会社はいづれも國策的使命をもつて、まさに鞭を並べての躍進

文化に隔絶された群島、戦争を知らぬ島民の子供たちは支那軍の勝利兵隊を前にテリテリとした大きな瞳を輝かせて日本の強さを知る。



南洋群島に心から参加するクワイ島の青年はパラオ島の南洋神社建立用の伏出しに勤勞を仕立ててゐる。



である。その年産數千萬圓に達するといつたら何人も驚くに違ひない。地圖の上では、まるで豆粒のやうな島だが、現在在邦邦人は六萬有餘といふのだから、五萬の先住島民を凌ぐこと一萬人といふ發展振りである。かくて群島は海の生命線として、軍事的の意味はかりでなく、産業經濟的にも、南の生命線として、わが南洋國策に密着してゐる。

かうした飛躍群島の中に生活してゐる先住民族たる島民の生活はどうであらうか。彼等とても進みゆく近代文明の前には、何時までも安閑として、桃瀧の夢を食つてゐるわけにはゆかない。椰子の木蔭でフラフラダンスも吹き捲る文化の風の前は、どうやら影うすれゆく有様で、いまや時局に目醒めつゝある彼等は、わが産業陣に於ける邦人活躍の忠實なる協力者として、それ相當の役割を果してゐる。彼等が如何に時局に目醒めつゝあるか、その一端として、國民精神總動員運動に對する彼等の参加振りをみよう。

いふまでもなく南洋群島の島民はカナカ族とチャモロ族の二種類に分けられてゐる。大部分はカナカ族だがこのカナカ族は日本が群島を統治し始めた頃は全くの未開種族で、その智的程度はお話しにならなかつた。それが日本の統治で教育の普及と努力の結果、いまでは公學校の所在地で、一通り讀み書きの出來ぬ者は、彼等仲間でも恥辱とされてゐる。勿論日本語もなかなかなかである。

彼等は支那事變が勃發して以來、南洋開拓のものと國民精神總動員運動に参加した。在邦邦人等の愛國赤誠に呼應して、國防献金、その他數々の美談を残してゐる。事變が勃發してから、昨年八月末までには官廳を通じての群島住民の愛國献金は總計九萬九千二百四十六圓三十一錢に達してゐる。邦人を除いたこの内額は、島民が六千一百六十八圓二十三錢で、外國人が七百七十七圓八錢支那人が百三十圓となつてゐる。島民のこの献金は邦人に比較すると、極めて僅かなものであるが、然し、經濟的に殆ど力といふものを有たない彼等にして、これだけの献金をするといふことは非常な努力である。献金以外に南洋興發會社から直接献納された軍用飛行機、その他アラフラ海で眞珠貝採取業者の献納した海軍



われわれに最も關心を抱かせたものは、五萬有餘の島民の手になる愛國献金の場合である。彼等は國民精神總動員運動に對してよくその趣旨を理解し、進んでこの運動に参加するものが續々と現れ、保員を、幾度も感激させた。彼等が、六千一百圓の献金をしたといふことは、並大抵の努力では出來るものではない。この額の中には、彼等が朝早くから海に出て、海底から拾ひ上げた高瀬貝を賣つた金も含まれてゐることであらうし、また土木工事に出て得た賃銀も含まれてゐることであらう。何れも一錢五錢といふ零細な金の總額である。彼等の愛國美談の一二の例を拾つてみよう。

パラオ支廳管内のベリニュー村島民女子青年團員は、内地人の奥様やお嬢さんたちが銃後の働きをなされてゐるのに、自分たちが遊びではゐられないとあつて、お互に申合せて、椰子樹の樹皮で、巻煙草入れを約二百個製作しこれを邦人に賣却してその代金全部を献金した。

また同支廳管内のアンガウル校児童も毎週土曜日の午後の作業時間を利用して新割を行ひその代金を昨年八月まで三回に亘つて計九圓が献金された。たとへその金額が僅かであつても、彼等の汗の結晶である。

このやうな例はひとりパラオ支廳管内だけではない。ボナペも、トラツクも、ヤルトも或はクワイも、サイパンも、ヤップの各島々にもあつた。東經百七十度といへば、南洋群島でも東の果である。月に一回くらゐ、内地から便船が、それも行つたり行かなかつたりするやうな島、それがヤルト支廳の所在地である。この支廳からの報告によると、支那事變がはじまつた昭和十二年のクリスマス當日にイムロジその他の教會で、早くも國防献金が集めら

クワイ島民の年寄は邦人の奥さん達から聞いた組國旗後に甲斐／＼しく働いて若い婦人の美徳を島の娘さん達に話して愛國献金の中し合せをした。

クワイ島の運動場に集まつた公學校の生徒達は、「光と永久に戴きて臣民我等皆共に」とカナカ特有の美しい聲で愛國行進曲を踊つてゐる。椰子の葉蔭の踊りもいまは日の丸精神だ。



# 愛馬の目

四月七日  
馬政局



いま軍は支那事變の實験によつて、今度の事變の目的を遂行するためにも、また次に來るべき戦ひの準備をとりへておくために馬の増産を圖るとともに、平素民間所有の馬を愛育して、いつでも強健な馬を軍のために提供出来るやう準備しておくことを切に望んでゐる。

強健な馬に育てるには一に飼主、使用主の愛馬心に訴へるより他はない。現在わが國各地での馬の飼養ぶりを見ると、まだ飼養法が誤つてゐるために健康を害はさせ、一羽軍馬徴發の際にもその需めに應じることの出来ないといふ例が少なくない。

馬を眞に愛するにはまづ馬を知ることが肝心である。虐待、酷使は勿論不可ないことであるが、馬に對する認識が不足であると、馬を愛するつもりが結局馬を駄目にすることになる。われ／＼も愛しから馬も愛からうと毎日暗い厩舎に閉ぢこめ、煮たものを食せさせ、お湯を飲ませるといつた誤つた育て方をしたために

折角徴發されても平素の運動不足と消化器の虚弱のために忽ち倒れたといふ話もある。

馬は兵器だ、育てよ、愛せよ、愛馬の聲はこの四月七日の「愛馬の日」を期して全國民からわきあがらせよう。



馬も齒を悪くするとは人間と變りはない。齒を悪くすると消化が悪くなり、體をこわす病氣の早期診斷、胃腸内の寄生蟲掃除等とともに齒の治療も時々技術員に依頼するのがよい。

蹄は馬の生命だ。月に一度は削つて、蹄鐵を取りかへ、そして日に一度は近所の小川で蹄の汚れたまゝに洗つてやりたい。蹄の裏を汚れたまゝにしておくとつひ腐菌が入つて脚を傷める。

馬の健康からいふと放牧が理想的だが、それが出来ないうちから、せめて厩舎は清潔に、戸外には日光浴と軽い運動のための坪を作つてやりたい。

馬は元來草食動物だから青草を十分に、青草のない冬は乾草或は大豆餅などを缺かさず食せさせよう。骨軟症を防ぎ、かつしりしりした骨組の馬を作るにはカルシウム豊富な草を食はせるに限る。



撮影 鈴木實





栃木縣那須郡那須村の若ヶ澤は  
わづか十二戸の小さい部落ながら  
流石全国でも代表的な馬の生産地  
頭、それだけに、所有馬は實に八十  
地に放牧されてゐる。その那須放牧  
山をわたつてくる風はまた少し寒  
いが牧草の芽は早くも土をついて  
出はじめた。春を感じてか駒はし  
かりに嘶く。つひこの間生れたば  
なつて母馬にされて跳びあらく。

# 南海島も本日晴れ

自軍の上陸以来一ヶ月半、海南島にある日本人はすべて住みよこの島がすきになった。ほとんど離れを離れないが、急に日本軍はたてられて、島民もすつきり喜ぶついた生活をほはじめた。

上陸後九日に治安維持会は組織され、この日、二月十九日には清國らしい安らかな海のお正月を迎へた。最近では乗合バスも椰子やサボテン畑の間を通過するといふ。

撮影 サウスチャイナ  
フォトサーウイス



- 1 海口は海南島第一の近代都市、開港。街並は廣東に似てゐるが少しも破壊された跡がない。
- 2 この島は臺灣よりちよつと大きい。椰木とサボテンに蔽はれる熱帯風景を水路のどかにサンパンをあやつりながら北部からも避難民は歸つて来た。
- 3 首都瓊山に二月十八日、治安維持会は結成され、軍當局の憲力により住民は安居樂業してゐる。
- 4 海口にくらべると瓊山は非常に田舎くさい町だ。ハダシの女苦力がよく働らいてゐるのが目立つ。
- 5 兵隊さんと海口の良民との間にはすぐ果るところで交際がはじまる。家々は良民でいっぱい、新しく日本人が来ても空家が一つもないといふさわざだ。
- 6 今では敗残兵は西と南の山々にいくらかひそんでゐるだけだ。一時は避難した海口の優良な住民ももうみんな懐しのわが家に歸つた。





も島南海  
れ晴本日

7 海口は近代都市だがまだ水道がない。街のメインストリートには一丁おきくらわに共同井戸があり、毎朝井戸端に集まる女たちの会話は騒々しい。

8 春節のお正月は二月十九日。人々は小さくつばりと、玄關には「祝春延壽」の赤紙が新らしく貼られ、傳統の獅子舞は人々の心を一層はげませる。

9 推おろかされて待つお正月には、きれいなオベ、着て、女の子は女の子同志、男

の子は男の子同志、五六人で人力車にのつて街中を走る。

10 海南島北部平地ではこんな賑が今もつて通貨の代りをつとめてある。香港その他の賑内もほとんど、から供給されてある。

11 賭博好きは支那人の共通性だ。この住民も賭博や原西省から渡来した人々はやはり大道に賭博を開帳、眩しい陽ざしを浴びながら飯も忘れて賭博に夢中だ。



純國産の代表的優良種

# 明治紅茶

豊かに高雅な味と香り



明治製菓株式会社



いし味美に味てへ茶に茶紅  
トツケスビ治明

## 讀者のカメラ

可愛い、軍馬の慰問使  
山見 司  
京都市伏見区  
近づく愛馬の日にさきか  
て、京都市佛光寺東院院  
の園児たちは三月二十  
日お母さんや姉さんに連れら  
れて伏見の輕便兵隊へ軍馬  
の慰問に行きました。  
兵隊さんたちはこの可愛い  
慰問使に大喜び、通しい軍  
馬を調度も曳き出して見事な  
高馬を調度も曳き出して見事な  
軍馬が強く立派な手から  
樹て、お話を聞いて下さい  
ました。園児たちもすつかり  
勇ましい軍馬が好きななり  
持つてきた人参を食させたり  
餅で元氣よく愛馬進軍歌  
を歌って馬と仲良しの一日を  
すごしました。



張家口の陸軍記念日  
内家 茂樹  
三月十日、聖戦下第二回  
の陸軍記念日は張家口にも  
義勇兵隊の戦跡に、張家口  
の官民総動員の戦跡に、  
部隊の攻防演習が内家の小  
まじりの空気に力強く展開  
された。高貴、上は湯茶の接待  
に活躍した見物人、下  
は工兵隊見学の小学生。

讀者のカメラ  
応募規定  
一、本誌の読者同志が  
二、本誌の読者同志が  
三、本誌の読者同志が  
四、本誌の読者同志が  
五、本誌の読者同志が



所 込 申	價 定	昭和十四年四月五日印刷発行
内閣印刷局發行課	一 部 十 錢	東京市神田區本町
全函各地官報販賣所	半ケ年(前金)二圓四十錢	内閣印刷局
東都書籍株式會社	一ケ年(前金)四圓八十錢	東京市神田區大塚町
各書店・評賣店	半ケ年分未滿配額御希望の方は一ケ年分十錢の割合を以て前金を添へ御申込み下さい	
各新聞販賣店	(外函郵便に依る場合は郵費不取)	
寫真材料店	内閣印刷局發行課	
	電話九ノ内(23)三五一九	

寫真週報(兼郵報)

★表紙  
常夏の南海に銀へた前舟  
陸々たる島の青年は事變下  
國民精神總動員運動の熱心  
な協力者である。黒龍の院  
に銜を握り甜弊の海に魚  
を突くカナカノ青年は過ま  
しい野性味に溢れてゐる。

撮影 松本要之助

第五十八號讀者カメラ、撮影者  
名左の通りに付、追記します。  
「復讐の底氣、私達の感情」  
京都市 勇上好之助  
「雪の野に出てケライダー」  
富山縣新井町 石崎洋介

東京週報 昭和十三年三月二十二日 第... 内閣印刷局印刷發行

強清浄力!  
快味と香り!

薬用

クラブ歯磨



煉歯磨  
半煉歯磨



八大專賣特許による  
総合的薬効作用!



この強力性能あればこそ、ムシ歯、口臭、  
歯槽膿漏やその他の口中疾患を徹底的に  
防止すると共に歯と歯ぐきを強く美しく  
するのです。

薬用クラブ歯磨は  
一般歯磨のもつ吸着  
作用その他の効果を  
完備した上に、更に  
八大專賣特許による  
総合的な薬効作用を  
もつ薬用歯磨です。

内閣印刷局印刷發行

(別紙「報告」・A4規格定規は3人の書本)